

まえがき

**人生への言い訳をなくすために必要なこと。**

自分が何にどのくらい依存しているのか、向き合ったことはありますか？

依存することも、依存されることも、じつはとても沢山のエネルギーを必要とします。にもかかわらず、多くの人は、ほとんど無意識に、何かまたは誰かに依存して、人生の時間を、ハート（魂）が望んでいないことに消費しているのです。

親への依存、子どもへの依存、夫や妻への依存、恋人や友人への依存、ある「関係性」への依存、ある「癖」への依存、ある「状況」への依存、仕事への依存、立場への依存、会社や職場への依存……。

これらは、ハート（魂）の声をどんどん聴こえなくさせます。

ハート（魂）の望む通りの一生を全うできる人は、ごく少数ですよ。というのも、多くの

方が「全うできなくて当たり前、仕方がない、こういう世の中なんだもの」と、諦めているからかもしれませんね。

しかし、人間がこの世に肉体を持って、家族というコミュニティに生まれてくる一番の理由は、「自立を学び、自己実現していくこと」なのです。

この物語の主人公直美は、アヤワスカという幻覚性植物の助けによって、「自分が何にどのくらい依存していたか」そして「依存されていたか」を客観視し、“腑に落とす”ことができました。

依存心の正体を突き止め、そこから脱却すると、本当に人生が大きく変わります。

「自分が本当はどう在りたいのか」

「何を選択すべきで、何を選択すべきでないか」

「依存し合うことと、調和しながら助け合うことの、違い」

そういうことが、くつきりと、見えてきます。人生が、魂の望む方向へ、ぐぐつと方向転換されるのです。

この本を手を取ってくださいました皆さまには、ご自身の中にくすぶる魂の声に気づき、ハート

がぼかーんと開いて、大いなる癒しのギフトを受け取ってもらえますようにと、心から願っています。

下空マイ子